土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　令和2年度　二級河川　沼田川水系　宗郷川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名または工事名

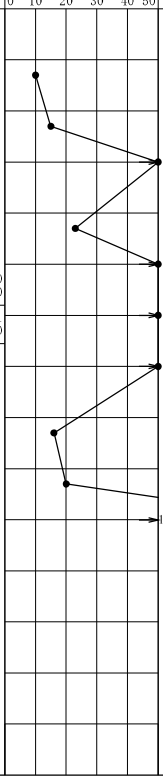
調査目的及び調査対象　　砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.5	調査位置	広島県 三原市 宗郷町	北　緯	34° 22′ 23.5864″
発注機関	広島県 東部建設事務所 三原支所	調査期間	令和02年11月06日～令和02年11月11日	東　経	133° 03′ 49.5571″
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 97.16 m	角度	180°（上）、90°、0°（下）	方位	北 0°、東 90°、南 180°、西 270°	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1
総削孔長	13.00 m								エンジン：ヤンマーNs110C　ポンプ：東邦地下工機BG3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	96.26	0.90		礫混じり砂質土		茶灰			深度0.25mまで有機質土。 砂はマサ状の細～粗粒砂で構成。 φ=2～30mmの亜角礫を混入する。 礫種は花崗岩。
1～2				砂礫		褐灰	中ぐらい		φ=5～40mmの亜角礫，風化礫が主体。 基質は砂質土(マサ)状を示す。 φ=70mmの粗礫を混入する。 全体的に少量の粘土分を混入する。
3	94.16	3.00							
	93.46	3.70		玉石混じり砂礫		暗灰	非常に密な		φ=10～60mmの亜円，亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 コア長L=5～7cmの玉石を混入する。 礫種は泥質岩が主体。
4				砂礫		暗褐灰	中ぐらい		φ=5～50mmの亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 礫種は花崗岩が主体。
	92.31	4.85							
5～7				玉石混じり砂礫		暗褐灰～暗灰	非常に密な		φ=20～70mmの亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 コア長L=3～15cmの玉石を混入する。 礫種は花崗岩，泥質岩が混在する。 玉石はハンマ軽打で金属音を発する。
	89.46	7.70							
8～9				礫混じり砂		淡褐灰	中ぐらい		砂は細～中粒砂が主体。 φ=5～40mmの亜角礫を混入する。 全体的に粘土分を混入する。 含水比がやや高い。
	87.36	9.80							
10	87.16	10.00		玉石		暗灰			コア長L=3cmの岩片で採取。 礫種は泥質岩。
11～12				強風化花崗岩		淡褐灰			粗粒黒雲母花崗岩の強風化岩。 コアは岩片状～短柱状を示す。 コア肌は粗面状，ハンマ軽打で濁音を発し崩れる。 キレツは低角度主体，キレツ面は酸化。 岩級区分CLクラス。
	85.16	12.00							
13～14				風化花崗岩		淡褐灰			粗粒黒雲母花崗岩の風化岩。 コアは短柱状主体。 コア肌はやや滑らか，ハンマ軽打で濁音～金属音を発す。 キレツは低角度主体，キレツ面はやや酸化。 岩級区分CMクラス。
	84.16	13.00							

孔内水位／測定年月日：11/10 5.80 ▽　11/11 6.10 ▽

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量
10.0	1.15	2	2	6	10
	1.45				300
15.0	2.15	8	5	2	15
	2.45				300
50.0	3.00	50			50
	3.00	0			0
23.0	4.15	7	7	9	23
	4.45				300
50.0	5.00	50			50
	5.00	0			0
50.0	6.00	50			50
	6.00	0			0
50.0	7.00	50			50
	7.00	0			0
16.0	8.15	4	5	7	16
	8.45				300
20.0	9.15	5	6	9	20
	9.45				300
1500.0	10.00	50			50
	10.01	10			10

原位置試験

深度 (m)	試験名及び結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日：11/7、11/9、11/10、11/11